

## 東京都における農業改良普及事業

東京では、区部や北多摩をはじめとする人口が密集する都市地域や西多摩、南多摩の山間及び山間周辺地域、伊豆諸島の島しょ地域において、それぞれ特徴のある農業が展開されています。

都市地域では、コマツナ、ホウレンソウ、キャベツ、ナシ、ブドウなどの野菜や果実をはじめとして、牛乳や卵など新鮮な畜産物、都民の暮らしに潤いと安らぎを与えるシクラメンなどの鉢花や花壇苗、また植木類の生産が盛んです。近年では、市場出荷だけでなく、農産物直売所や農家の庭先での直売、量販店などとの契約栽培が増え、販売方法の多様化が進んでいます。

山間及び山間周辺地域や島しょ地域では、ワサビ、アシタバ、キヌサヤエンドウなどの地域特産の野菜やブバルディア、レザーファン、フェニックス・ロベレニーなどの温暖な気候を活用した切花や切葉など、地域の特性や資源を活かした農業が行われています。

今後、都の農業を発展させていくためには、都民のニーズに即した、生産性の高い都市農業の実現と地域資源を活かした農業の振興による山間及び山間周辺地域や島しょ地域の活性化が重要な課題となっています。